

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年2月3日(月)～平成26年2月9日(日)〔平成26年第6週〕の感染症発生状況

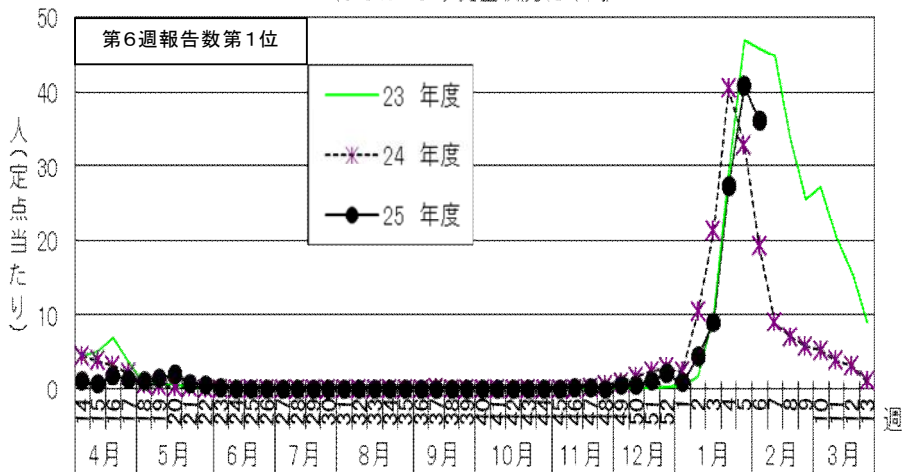
第6週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。

インフルエンザは定点当たり36.11人と前週(40.85)より患者報告数は減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

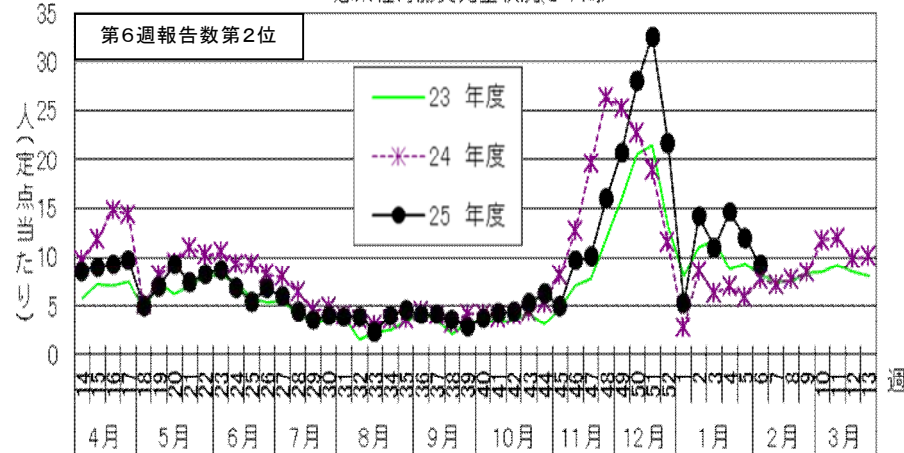
感染性胃腸炎は定点当たり9.18人と前週(12.00)より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

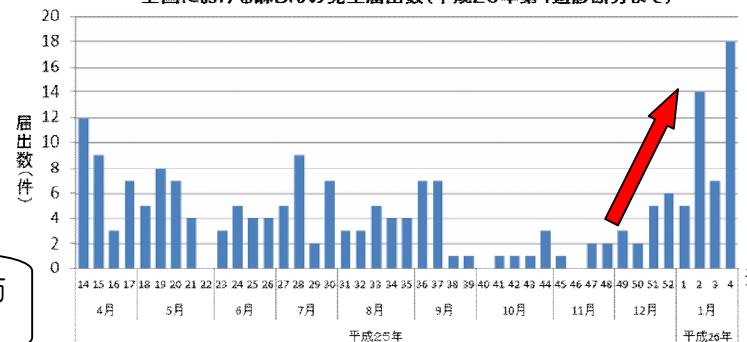


要注意！！麻しん患者の増加について

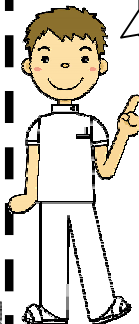
海外で麻しんに感染し、帰国してから発症する方が、全国的に増えています。世界保健機関（WHO）によると、アジア地域では平成25年以降、中国、ラオス、フィリピンなどで麻しん患者の報告が多く、特にフィリピンから帰国された方が発症する事例が相次いでいます。

川崎市においても、年明け以降、すでに3件の麻しん患者の届出があり、いずれもフィリピンでの感染が疑われています。

全国における麻しんの発生届出数(平成26年第4週診断分まで)



麻しん、風しんの予防はワクチンで！



～風しんの流行に伴う緊急対策事業 もうすぐ終了～

川崎市では、平成26年3月31日まで、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)接種費用の一部助成を実施しています。このワクチンは麻しんにも有効であり、2000円程度で接種することができますので、対象者の方は、お早めに接種を検討しましょう。詳細は次のホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000053514.html>